



卒業をまぢかに迎えて

3年担任／国語科 中熊 和典



3年生も、もう卒業を迎えるようになりました。3年って長いようで短く、短いようで長いですね。

最初は7人で始まったこの学年も気がつけば48名です。一緒に過ごした時間はそれぞれ違いますが、48人には48人それぞれに思い出があります。受験勉強をがんばった生徒、居酒屋やコンビニでアルバイトをした生徒、もう就職してお給料をもらっている生徒、自分で学費を工面した生徒、病気と長らく付きあっている生徒、家で生きることを意味を思い悩んでいる生徒、これからの将来に正解と安定を一生懸命探している生徒、いろんな想いが言葉にならない生徒……。やっていることはそれぞれ違って、みんなそれぞれ一生懸命に今を生きているということを知りました。そんな生徒たちに影響を受け、自分も一生懸命生きなきゃと思っていました。

僕は高校時代に、苦勞らしい苦勞はしていません。悲觀もせず絶望もせず、ただなんとなく生きてきました。高校時代をなんとなく過ごしてきた自分は、必死な今の生徒に対して偉そうなことは言えません。まして今の世の中、なにが正解なのかもわかりません。唯一できることは、この時代を生きていく者同士として、一緒に悩んだり困ったりすることと、一緒に何か手がかりを見つけることじゃないかと思います。

僕は3年生48名から多くのことを学びました。生徒や保護者の皆様と関わりを持つ中でそれまで見逃してきたこと、見えなかったことについても考えるきっかけをもらいました。悩み考え学ぶ中で、気がついたことは、それまでの自分の常識や確信していた知識がいかにか小さいものだったか、ということでした。何回もの自分のマイナーチェンジを繰り返して、人としての器も少しは大きくなった気がします。なので、僕はこの3年間に起こったすべて出来事のこと感謝しています。これ、ホントに本音です。なので、本当に、本当に、ありがとうございました。

橋本先生のコミックセラピー

農園療法や音楽療法など様々な活動から癒しの効果が認められるようになりましたが、実はマンガでも証明されるようになって来ました。そんなマンガによる癒しを「コミックセラピー」と言います。

お金のことで悩んでいる人に オススメのマンガ



インベスターZ

モーニング KC 2巻まで発売中 [講談社]

作 : 三田 紀房

「インベスターZ」、何やらヒーローモノの主人公のような響きがあるが、実はマンガのタイトルで、しかも内容はお金のお話。これがどうしてコミックセラピーのネタになるのか不思議に思う人もいるに違いない。そこでまずこの作品マンガの紹介から始めよう。

創立 130 年の超進学校・道塾学園にトップで合格点した財前孝史。入学式の翌日に明かされた学園の秘密・各学年トップの 6 人が参加者する「投資部」が存在するのだ。彼らの使命は 3000 億を運用し、年 8% 以上の利回りを生み出すこと。それゆえ日本最高水準の教育設備を誇る学園は学費が無料だった。

主人公に明かされる投資の法則、成功事例、失敗事例の数々。13 歳の少年にはあまりに重すぎる選択を迫られるが、「初めての勝負でも絶対に負けたくない」という強い思いから次々に関門を突破していく。そのプロセスを追っていく中で、この世の中を支配する法則の存在に気づき、新しい時代を切り開いていくためのビジョンが示される。これがどうして実に哲学的なのだ。

「お金によって人間は初めて考える時間を獲得した」、「お金が人を人にした」、「お金は言葉、コミュニケーションである」、「お金は人間が人間にかけた魔法だ」などなかなか深い言葉が散りばめられている。

私たちが生きていくうえで欠かすことのできないお金、使い方を誤ればとんでもない結果を招くことになるお金、人間の血が最も沸き返る究極の目的になるお金、そんなお金の意味を改めて問い直し、子供のうちから考えさせる。これまでお金の話を子供にすることはタブーとされてきた風潮を一気に打ち破ったという意味では画期的なマンガだ。

一見するとお金儲けのノウハウを伝えているマンガのように見えるがそうではない。子供たちに一番伝えなくてはいけないことを、大人たちがあえて伝えてこなかったことで、すっかりゆがんでしまった金銭的感覚を正常に戻すためのマンガなのだ。

このマンガの作者は、大学受験の意味を問い直した「ドラゴン桜」、本当の就活とは何かを問う「エンゼルバンク」などを描いてきた三田紀房(のりふさ)。彼はこれまで一貫して私たちが否応なく人生において直面せざるを得ない様々な問題、例えば、勉強、受験、就職、転職、経営の意味を問い直す作品を描いてきた。志成館の教室に貼ってある彼の色紙に気付いた人もいだろう。(これは私が三田さんに描いてもらった貴重なお宝)

そして今回のテーマはお金。人類最大の発明品と言われるお金とは一体何なのかについてここまで突っ込んだマンガは読んだことがない。私も含めてお金で悩んでいる人にとっては、「目からウロコ」の名作だ。

これから自分が何かをしりたいのかわからなくなっている人へ。この「人生先取りマンガ」を読んで、少しでも君たちの人生に感じている不安をとり除いてみることをオススメする。お金が人生を救うこともあるんだよ。

健康になっていこうプロジェクト 『浅い呼吸と深い呼吸の違い』

ヨガにしてもストレッチにしても、気功にしても呼吸を大切にします。どんなに怒っている人も、ゆっくり息を吐きながら怒るということは難しいみたいです。呼吸をゆっくりするためには、胸周りの筋肉が緩んでおく必要があります。

日本では古くから、深呼吸や呼吸法を大切にしてきました。これは副交感神経が優位になり精神的にリラックス

するという理由にのみにとどまりません。深い呼吸をすれば多くの深部筋や骨がスムーズに動くようになります。それが弱った内臓や神経を刺激し、体内のめぐりが良くなるという健康上のメリットもあるのです。逆に呼吸が浅い人は、回復力が弱いため健康を害しやすく、精神的にも怒りやすくなるなどの悪影響が生じてしまいます。

【出典:弱った体がよみがえる人体力学】(高橋書店)

日	曜	
		
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	【高校】卒業式予行 3年生 食事会
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	「建国記念の日」 卒業式(県立劇場)
12	水	【高校】代休
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	【高校】1・2年生 総合学習(メディア見学)
22	土	
23	日	
24	月	【高校】1・2年生 二者面談
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	

高等学院

■7日 卒業式予行・(3年生)食事会

熊本校の多目的ホールを使って卒業式の予行練習を行います。また、3年生は練習後に卒業式前の食事会を行います。

詳しくは、別紙のプリントをごらんください。特に“心構え”については、卒業式の前によく読んでおいてください。

■11日 卒業式

熊本県立劇場の大会議室にて、卒業式を挙ります。1・2年生で当日参加する生徒は、前日までに担任の先生に連絡してください。

<1・2年生>

■12日 授業は休講です。

卒業式挙行に伴い、式翌日の高等学院1・2年生の授業は終日休講です。

■21日 総合学習(メディア見学)

熊本校に集合して、放送局の見学に行きます。詳しくは、別紙のプリントをごらんください。

■24～28日 二者面談

※2月17日に改めてプリントを送付します。

進路について話す大切な機会です。面談の希望日時を、早めに担任の先生に連絡してください。

大学受験科

先月、センター試験を受験した皆さん、お疲れさまでした。大きな行事が一つ終わりましたが、ほっとしてばかりはいられません。

2月は私立大学一般入試がピークを迎える月です。センター利用入試の出願先も、遅くとも今月中には決定しなくてはなりません。

先生方や保護者の方々とも検討しあって、納得のいく進路に進んで欲しいと思っています。

志成館受験生の健闘を祈ります！

高認受験科

高認第Ⅱ期がスタートしました。試験は8月、まだまだ時間はありますので、高認試験合格後のことも視野に入れ、十分な対策をする時間が残されています。

焦らず、一步一步、着実に前に進んでいきましょう。

■ 1月の主なできごと ■

●年末年始 冬期講習／^{しめなわ}注連縄



年末年始、大学受験科の「冬期講習」を1週間ずつ行いました。センター試験や入試に向けて、各生徒が受験に必要な科目の授業を実施しました。

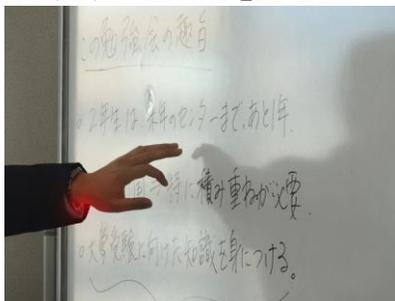
また、12月27日から1月10日まで、熊本校の入口には注連縄を飾り、年神様(新年の神様)をお迎えしました。

1月10日(金) 始業式／書初め大会



熊本校・八代校で平成26年の始業式を行い、そのまま書初め大会を行いました。この1年の意気込み、自分の好きなものなど…生徒に交じり職員も筆を走らせた。各学年で作った横長の紙に書かれた作品は、当分の間教室の壁にも掲示しています。

1月15日(水) 「勉強会」開始



当日より、月・水・金曜日の放課後の「勉強会」が始まりました。高等学院1・2年生のうち、将来は大学への進学を目指す生徒を対象に行うものです。将来の進路に向けて、早め早めの準備が大事です。

初日は「数学A」、組み合わせの授業を実施しました。今後の状況によって、他教科の実施や実施時間帯などを変更する予定です。

1月17日(金) 「体育」バドミントン



昨年に続き、「体育」の時間は各校とも周辺の施設などに移動して授業を行います。八代校では当日、市立体育館にてバドミントンを行いました。

1月17日(金) 総合学習(現代美術館)



熊本市現代美術館、『アール・ブリュット・ジャポネ展』の見学に行きました。引率した職員としては「個性とは、感性とは、表現とはなんだろう。」と、とても心地よい刺激を受けました。

どの作品にも価値を見出し、評価してくれた周囲の人がいます。わたしたちも生徒たちのいろいろな面を評価していきたいと思います。

1月24日(金) 卒業写真撮影



高等学院の3年生は、2月11日(火・祝)に卒業式を迎えます。当日の3年生教室には立派な黒板アートが完成し、3年生は黒板の前でたくさんの写真を撮りました。また、各生徒・職員の作文を集めた文集を現在作成しています。当日撮影した一部の写真は文集に掲載します。

先生たちのつぶやき

卒業生の皆さんへ！サポステに出かけてみると、志成館の卒業生たちが利用しています。社会に出るために、一つのステップとして、無料で利用できます。これからどこかでつまずいたら、志成館に来て、しゃべって帰るだけでもホッとするとお思います。そして、必要があれば、サポステをはじめとする、様々な機関へつなぎます。

卒業おめでとう！卒業しても、居場所はいっぱいあります。精一杯羽ばたいて、そしてちょっと疲れたら、また、一息つきにきてください。(清田)



今年は、やりたいことを遠慮なくやってみたくお思います。けれど、あまり気合を入れすぎると疲れて、持続しないので、気になったことは最初の一步だけ足を踏み入れてみることにしました。そして、二歩目も続けようと思えば、踏み出せばいいし、なんか違ったとしてもそれでいいとお思います。色々ずっと気になるよりも、一步踏み出してから、気になることをどんどん減らしていきたいとお思います。(中熊)



センター試験前日、受験生と一緒に試験会場の下見に行きました。会場となった熊本大学には、緊張のおもちの受験生が多かったのですが、中には修学旅行気分ではしゃぎながら学内散策を楽しんでいる人もいました。

こんな光景もありました。連れていった生徒が通っていた高校の後輩と偶然に出会ったのです。その時の嬉しそうなお顔、こんな笑顔を見たのは久しぶりでした。

試験を受けるというのはたしかにつらいものです。でもあとになって振り返ると、あの苦しかった頃が一番懐かしく思い出されてきます。一生のうちで一番緊張する瞬間が受験ですが、一番充実した瞬間であるのも受験です。

これからいろんな試験を受けることになる君たちには、逃げずに真正面から立ち向かっていってほしいとお心から思っています。(橋本)



3年生は授業が終わり、後は11日の卒業式を待つのみですね。進学する人、就職する人、まだ進路に悩んでいる人…皆思い思いにこれまでを振り返り、今後新たに始まる生活のことを思い描いていることかとお思います。1・2年生も、来年度に向けて期待を膨らませていることでしょう。

まだしばらくは寒い日が続きそうですが、風邪など引かないように頑張りましょう。(岩下)



いよいよ3年生は卒業式が近づいてきました。進路が決まり、自動車免許の取得やアルバイトを頑張っている人。まだ、何も決まらず不安で焦っている人もいるはず。一人で悩んでいると気持ちもやる気もどんどん落ちていくような気がします。どうぞ、そんな時は家族や先生達はもちろんのこと、相談しやすい友人、知人に自分の気持ちを話してみると良いのかもかもしれません。自分の将来に自信をもっている人はそんなにいないはず。色々とお悩みながら、諦めずに前進と後退を繰り返しながら一歩一歩、進んで行って下さいね。(金丸)



1月6日の仕事始めに、何人かの生徒と接して、まず思ったことは「いろいろな生徒がいて、おもしろい！楽しい！」でした。まさしく「皆違って、皆いい」です。

「楽しみたい」と言うことを口にするのを、TVで見ても、あまりピンとこなかったのですが、今年には生徒と接することを楽しみたいとお思います。(高橋)



時はあっという間に過ぎていきます。お正月、お花見、花火大会、紅葉狩り、クリスマス、誕生日と毎年訪れるイベント…学校行事であれば始業式、テスト、文化祭、卒業式なんてものも、時の流れを感じさせてくれます。1年前、みなさんはどのような気持ちで過ごしていたでしょう。のんびりと過ごしていた人、今後の進路を探す人、いろいろな考えがあったとお思います。最近、センター試験のニュースを見ると「あっという間にまた1年過ぎたな」という気分になり、1年のなかで最も忙しい日々を毎年過ごしています。1年後を想像し、そのために早め早めに動いてみましょう。

最後に、1月号“つぶやき”の中の問題解答…私は2013年12月28日が生まれて11,000日目、生年月日である「1日目」は1983年11月17日でした。(山口)

思春期の子どもと向き合うおとなたちの会

『ひなたぼっこの会』

3月例会のお知らせ

思春期の子どもさんの不登校・非行・子育てなどをひとりで悩んでおられる方、私たちと一緒に語りませんか？

毎回初参加の方もいらっしゃいます。参加希望の方は事務局までお申込み下さい。

日時：3月1日(土) 14:00~16:30

場所：八代教育会館 1階(志成館八代校)
〒866-0852 八代市大手町1丁目59-2

参加費：一般の方は200円、会員の方は無料。

主催・お問い合わせ：

NPO法人 日本教育相談研究所

『くまもと共育会T、T』『ひなたぼっこの会』事務局

TEL 096-366-1080(平日9~18時)

★例会は、奇数月 第1土曜日の14時から、
八代教育会館(志成館八代校)で行っています。

「ノロウイルス食中毒注意報」の 発令について(平成25年度)

【参考:熊本市保健所のWebページ】

熊本市では平成25年12月4日(水)午前10時、平成25年度の「ノロウイルス食中毒注意報」が発令されました。

熊本県内外でノロウイルスが原因の感染性胃腸炎の患者が増えているとして、手洗い強化など衛生面での注意を呼びかけています。

屋外から屋内に入るとき、食事の前、トイレの利用後などは十分な手洗いを心掛けましょう。



※『SHISEIKAN!』通信の挿絵は、『イラストわんぱぐ』(<http://www.wanpug.com/>)のフリー素材を使用しています。

志成館

日本航空高校【熊本キャンパス】

志成館高等学院

志成館【高認受験科】

志成館【大学受験科】

〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号

TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871

(味噌天神バス停徒歩0分/味噌天神となり)

ホームページ URL: <http://www.siseikan.net>

ご意見・ご感想をお聞かせください。

メール: shiseikan2shin@gmail.com

セミナー開催のお知らせ

「困難を有する子ども・若者に よりそいましょう! in 玉名」

ひきこもりや不登校など、社会生活を営むうえでの困難を有する子ども・若者の問題については、社会全体の課題として取り組む必要があります。専門家による講話を通して、当事者や家族、支援者さらには県北地域のみなさんでこの課題について考えましょう。

参加を希望の方は、清田先生までご連絡ください。

日時 2月16日(日) 13時00分~16時45分

会場 九州看護福祉大学 (玉名市富尾888)

参加費 無料

テーマ 「社会への0.5段」
~不登校・ひきこもりからの自立~

主催 熊本県子ども・若者支援地域協議会/熊本県

当日の主な内容

13:00~15:45 第1部 基調講演

・I 「不登校」 齋藤 真人 氏
学校法人 立花学園立花高等学校長

・II 「ひきこもり」 高澤 信也 氏
たまな若者サポートステーション理事

15:45~16:45 第2部 交流会

講演者毎にコーナーを設置し、
フリートークによる交流を行います。

